

「足尾馬車鉄道と足尾銅山に関わる産業遺産を巡る」

コースの概要

明治期の日本を支えた主要産業として、各地の銅山があるが、古河市兵衛により開発され日本最大の銅山として産銅量を誇った足尾銅山を訪ね、銅山の主要輸送手段であった馬車鉄道、ガソリン軌道の痕跡をたずねつつ、江戸幕府御用銅山にはじまり、その後の日本の産業発展に寄与した足尾の歴史に触れるハイキングを計画する。

JR桐生駅よりわたらせ渓谷鐵道を利用して、足尾に向かい、町内の最南部に位置する原向駅から町内にある4駅を訪ねつつ、途中の軌道跡や足尾銅山を知るための遺構や博物館等をめぐり、現在営業最北端の間藤駅より帰路につく。歩行延長約8km。

1. スケジュール

日 時：2019年11月2日（土）（当初予定した期日と変更ありません）

集合：桐生駅改札8:45（桐生8:54発間藤行に乗車します。両毛線は下り8:48・上り8:35着）

- ・わたらせ渓谷鐵道硬券1日フリー切符を手渡します（枚数限定、配布完了後は各自券売機購入）。（両毛線下り上記列車の方は、同一ホームなので、そのままわたらせ渓谷列車乗車口にお越し下さい。）
- ・上毛電氣鐵道沿線の方は西桐生（8:38着）から桐生駅に来て下さるよう（徒歩5分）お願いします。
- ・相老・大間々駅等から乗車する方は、申し込みの際連絡のこと（フリー切符は各自で購入して乗車）

桐生駅——相老駅——大間々駅——笠松片マンブ跡——原向駅——原堆積場擁壁——
8:54 9:05 9:16 10:16 10:30

※桐生駅改札前集合わたらせ渓谷鐵道715D乗車。片マンブを車窓見学し原向駅下車。

渡良瀬川第二橋梁——馬車鐵道橋梁跡——岩裂神社——通洞動力所遺構——足尾歴史館——
10:45 10:50 11:00 11:15 11:30~12:00

※歴史館でガソリン機関車が牽く「定時」試乗

通洞駅——トロ道——足尾キリスト教会——宝増寺——足尾駅——足尾掛水倶楽部——
12:05 12:25~12:55 13:00~13:30

渡良瀬——馬鉄軌道跡トロ道——松木川第一橋梁——間藤駅——下間藤踏切跡・間藤・本山間
13:40 14:10 14:15 14:25

※渡良瀬は物流拠点で、馬鉄軌道跡が道路となっている一部を散策。

廃線遠望——間藤発電所跡——間藤駅 間藤駅——大間々駅——相老駅——桐生駅
14:35 15:00 解散 15:09 16:13 16:26 16:36

※廃止となった下間藤踏切より、本山までの廃線跡を遠望後、間藤発電所跡を訪ね、間藤駅へ。

※終了・解散：間藤駅前で15:00頃を予定

- ・間藤15:09発桐生行列車に乗車できる予定とします。
- ・帰路は、各自の責任で、適宜に寄り道や途中下車して構いません。
- ・トロッコ列車乗車希望者：間藤15:30発があります（整理券は各自で手配）

2. コース費用

- ① わたらせ渓谷鐵道運賃 一日フリー切符利用 1880円 (2019年10月以降)

※10月以降は、消費税値上げのため運賃改定があります。普通乗車券の場合以下の通り

桐生ー桐生 2140円、相老ー相老 2010円、大間々駅ー大間々駅 1890円

- ② 足尾歴史館入館料 400円 (消費税値上げ前の参考)

- ③ 掛水倶楽部入館料 500円 (消費税値上げ前の参考)

※②、③については、団体入場の場合減額あり。

※足尾町内に食堂などもありますが、時間節約のため、昼食は、各自弁当を持参し、足尾駅で食べることにします。なお、足尾駅前に商店がありますので、飲料程度は購入可能です。

秋のハイキングの内容変更について

例年秋にバスハイクとして廃線跡を訪ねるハイキングを計画し実施してまいりました。今年度も年度当初より、赤城山登山鉄道跡のハイキングを計画し準備してまいりましたが、今夏の豪雨により、赤城山東麓の斜面が崩れ、水沼登山口からの登山道が崩壊、並行する赤城山登山鉄道の軌道跡も立ち入りが危険な状況になっているとの情報を得ました。水沼口からの登山者は近年非常に少なく、それに伴い標識等の整備も行われておらず、今回の豪雨で踏み跡も流されて熟達者でも道を失う恐れがあるとのことです。この報に接して、当会では今回予定のコースを実施することは、参加者を危険にさらす可能性がある判断し、別コースでの実施と致しました。赤城山登山鉄道跡の探索には、当初より路線バスを利用する予定でしたので、代案となるコースについても、一般の公共交通を利用して訪問できるコースを提案いたします。代案となるコースは、以下の通りですので状況をご勘案いただき、ご了解をいただけますようお願い申し上げます。各位のますますのご発展を祈念申し上げます。